

# アジア・太平洋電気通信共同体 (APT) の概要

## ① 目的

1979年、アジア・太平洋地域における電気通信専門の国際機関として設立。本部はタイ(バンコク)。当該地域における電気通信の均衡した発展を目的として、研修やセミナーを通じた人材育成、標準化及び無線通信等の地域的政策調整を行っている。(APT: Asia-Pacific Telecommunity)

## ② メンバー

- ・加盟国 38か国
- ・準加盟 4か国・地域
- ・賛助加盟員 139社・団体  
(電気通信事業者を含むICT関連企業等)

## ③ 事務局長及び事務局次長

- ・事務局長: アリーワン・ハオランシー(タイ)
- ・事務局次長: 近藤勝則(日本)

## ④ 日本の財政的支援

- ・分担金・拠出金として約211万ドルを拠出(APT予算の47%に相当) ※2019年



# APT総会の概要

## APT総会

- 3年に1度開催。
- APT加盟国（38か国）の代表が参加するAPTの最高意思決定機関。
- 事務局長及び事務局次長の選挙が行われるほか、今後3年間のAPTの活動方針（戦略計画）及び予算の枠組（財政計画）等について審議。

## 開催日程及び場所

- 2020年12月3日から12月5日までの3日間
- 2020年の総会はオンライン開催（議長国は日本）

## 主要議題

- APT事務局長及び事務局次長選挙
- 2021年-2023年の戦略計画及び財政計画　ほか